

ジュニアオリンピックローカルルール（2025 年度春季大会より適用）

① ベンチメンバー

高校女子含め 15 名とする。1 番には必ず GK をおくこと。

② タイマー

・攻撃時間については

A 区分

35 秒、コーナースロー・退水などについては 25 秒とする。

B 区分

28 秒、コーナースロー・退水などについては 18 秒とする。

C 区分

30 秒、コーナースロー・退水などについては 20 秒とする。

E 区分

28 秒、コーナースロー・退水などについては 18 秒とする。

③ 小学生区分のペナルティースロー

・4M で行う。コーンなどで簡易的にその場所を示す。

・B 区分、C 区分、E 区分については 5M で行う。

④ 小学生区分のフリースローシュート

・5M 以降のフリースローについて、そのままシュートを打てるものとする。

・B 区分、C 区分、E 区分についてはルール通り 6M とする。

⑤ 点差がついた場合

・6 点差がついた時点の開始後から、4 分・5 分計をとめずに試合を行う。点差が縮まっても、時計はとめない。試合終了まで残り時間 30 秒の得点后、試合終了まで残り時間 30 秒以内のペナルティ取得時のみ時計を止める。（たとえば残り 40 秒で得点が入った場合、時計は動き続け、4P の残り 30 秒になったところでストップする。）再開後は時計はとまらない。得点后と協議やケガなど審判の判断によりプレーを中断した場合をのぞき、時計は止まらない。

・6 点差がついた後は、タイムアウトは取得できない。タイムアウトを取得した場合、間違いであると判断する限りボール所有権は変わらず、プレーを再開する。

・A 区分は 1 ピリオド、B・C・E 区分は 2 ピリオド終了時以降、10 点差がついた時点で試合を終了する。（1（2）ピリオド終了までは点差に関わらず行うが、終了時点で 10 点差がついている場合、2（3）ピリオドは開始しない）

※ただし、決勝トーナメントについては適用しない。規定通り試合を行う。

⑥ タイムアウト

・全区分、1 試合 2 回とする。

・予選において 6 点差がついた時点よりタイムアウトは取得できない。間違った請求が

あった場合、タイムアウト請求はなかったものとして競技を続行する。

⑦ ゴールキーパー

- ・13 番に限らず 2 番以降の G K はフィールドプレーヤーとしても出場できる。
- ・2 番～15 番の選手は自分の番号の赤帽子を用意していれば、ベンチで帽子を交換し F P でも G K でも出場することができる。
- ・1 番以外の選手も 1 番と帽子を変更してゴールキーパーとして出場でき、またフィールドプレーヤーに戻ることも認める。ただし、帽子の交代は、怪我などの場合をのぞき、ピリオド間、およびタイムアウト取得時に限る。将来的にこの適用は廃止し、赤帽子を用意するよう求めていくことを検討している。
- ・G K はベンチに必ず 1 名おくことが義務づけられるので、1 番は G K とする。G K が 2 名以上いる場合、F P として出場する可能性のある G K を 1 番以外とすることがのぞましい。

⑧ ペナルティシュート戦

予選ブロック・予選リーグ

- ・ジュニアオリンピック全国大会では予選リーグでも同点の場合、P S 戦を行い、勝敗を決する。
- ・各チーム 5 名をメンバーに選出した後、3 人までの結果で決する。3 人で決まらない場合は、4 人目以降の V ゴール方式とする。

決勝トーナメント

- ・規定通り行う。

⑨ ベンチ交換

夏

- ・3 面展開時でも、ベンチ交換を行う。（予定。会場の都合で変更になる場合がある。）
- ・C 区分中学女子予選リーグ（3 ピリオド実施時）のベンチ交換は 2 ピリオド終了後とする。1 ピリオドと 2 ピリオドでは審判が交代し、2 ピリオドと 3 ピリオドの間はベンチの交換のみとする。

春

- ・3 面展開時（予選トーナメント）までは、ベンチは交代せず、審判が 1 ピリオドごと交互に交代して試合を行う。

※夏・春とも決勝トーナメント以降はベンチ交換をルール通り行う。

⑩ コールドゲーム

- ・得失点の対象となる試合がコールドゲームのみの場合、①10 点差以上の場合、得点差、②10 点差で並ぶ場合は、コールドゲームとなった時間を総得点よりも優先する。

⑪ メンバー変更について

- ・大会開始後のメンバー変更・追加は認められない。1 番の G K に欠員があった時のみ、メンバーの中で 1 番の G K を作って試合を開始する。

- ・予選会後のメンバー変更（大会開始前）については、定められた書式を必ず提出する。
- ・本選申し込み時までに、メンバー変更届とメールによる届け出がされた場合、プログラムには変更後のメンバーが記載できる。
- ・本選申し込み終了後のメンバー変更・追加（大会開始前）については以下の通りとなる。

1 メンバーの追加・変更については、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属していない選手にかぎる。メンバーに入っていない場合でも、予選申し込み時に他チーム、他区分に所属している選手は追加・変更できない。

2 本選申し込み後の帽子の番号の変更については、ゴールキーパーに関わる番号のみ認める。ただし、この変更は監督者会議終了時までに限る。

例：1番と8番の変更→認める

例：13番（持っている赤帽子の番号）と5番の変更→認める

例：2番をあいている13番（持っている赤帽子の番号）への変更→認める。ただし、本来本選申し込み時に行うべき変更である。

例：2番と3番の交代→認めない。単純な番号の変更は認めない。

例：1番がけがのため、欠番として、2番をあいている13番（持っている赤帽子の番号）にする→認める。

※GKは13番に限らないが、現状の帽子の用意を考え、上記の変更は認める。

・監督者会議後の変更は原則として招集時、正規のルール、および上記⑥のGKの変更にに基づき変更していく。つまり1番と他の番号との変更で対応する。

3 大会本部では帽子の予備の準備はしない。原則として、紛失した、壊れたなどの場合は、各チームで借りるなどの対応をしてもらうが、空き番号がある場合に、番号を変更する、本部で別の帽子を借りにいくなどの対応のためにゲームをとめることがある。

⑫ 試合の進行について

- ・以下の条件で試合するコートを変えることがある。

- 1 片方のコートが空き、もう片方のコートで行う試合が残っている場合
- 2 試合開始予定時間を過ぎている場合
- 3 当初の試合順が入れ替わるような変更は行わない。

※台風や交通の乱れなど不測の事態については、上記の条件に関わらず、試合方式を含め、大きな変更を行う場合がある。